

新入社員向け『学習設計マニュアル』による学習報告

181g8809 清水久輝

研修の目的&ゴール

目的

自身の学びを振り返り、これからの学びの姿勢を形成する



ゴール

「自ら学ぶ」ことの大切さを理解し、自己調整学習者になる

毎朝、自分を磨く「学び」について考える時間を設定（40分）



【使用する章】

- 6/29：第2章 学習スタイルを把握する
- 7/4：第3章 学び方を振り返る
- 7/5：第10章 失敗に強くなる
- 7/6：第11章 学習意欲を高める
- 7/9：第16章 これからの学びを想像する
- 7/10:第18章 自己調整学習者になる

毎朝やること

- Step1：読書（各自）
- Step2：練習問題を解く
- Step3：フィードバックを読んで自身の回答を確認する
- Step4：仲間と気付いた点を共有する
- Step5：気付いた点を共通テンプレートに記入

学習の結果（アンケート項目）

1. 今回の学習で「自らの学習スタイル」に把握することができましたか？
2. 今回の学習で「自らの学び方」に振り変えることができましたか？
3. 今回の学習で「失敗に強くなる」ことができそうですか？
4. 今回の学習で「学習意欲を高める」ことができそうですか？
5. 今回の学習で「これからの学びを想像する」ことができそうですか？
6. 今回の学習で「自己調整学習者」になることができそうですか？
7. 今回の学習を他人に勧めたいと思いますか？

上記項目をNRS（0：達成できていない～10：最も達成できた）で評価

以下、自由コメント項目

1. 今回の学習で一番参考になった章はどの章ですか？
2. この教材の良かった点についてコメントをお願いします
3. この教材で改善すべき点についてコメントをお願いします
4. その他、自由コメント

学習の結果（アンケート結果：自由コメント）

番号	質問	NRS(平均)
1	今回の学習で「自らの学習スタイル」に把握することができましたか？	8.3
2	今回の学習で「自らの学び方」に振り変えることができましたか？	8.3
3	今回の学習で「失敗に強くなる」ことができそうですか？	9
4	今回の学習で「学習意欲を高める」ことができそうですか？	8.3
5	今回の学習で「これからの学びを想像する」ことができそうですか？	6.7
6	今回の学習で「自己調整学習者」になることができそうですか？	7.7
7	今回の学習を他人に勧めたいと思いますか？	9.3

NRS（0：達成できていない～10：最も達成できた）

学習の結果（アンケート結果：NRS）

今回の学習で一番参考になった章はどの章ですか？

- 第2章：学習スタイルを把握する
- 第10章：失敗に強くなる
- 第18章：自己調整学習者になる

この教材の良かった点についてコメントをお願いします

- 図や表を用いて具体的に書かれていたこと。また筆者の解答や意見を書いておりそれに対して皆でディスカッションできた事
- 自分自身の学習スタイルを振り返り、強みと弱みを把握する事ができました。弱みに対するアプローチを知れたり、失敗を恐れないために持つべきマインドを学ぶ事に繋がった。
- シンプルに書かれており分かりやすい。今の学習を振り返るにあたり大変参考になった。

その他、自由コメント

- こういった学習本を読む機会を4年以上ぶりに行えてよかったです
- 製品研修前に時間を作って1冊しっかりと読みたいと感じました
- 5月のMR認定試験の学習前に読んでおきたかった。その際の学習にも役立てたと感じる。

* 本教材の改善点に関するコメントは特になし

気付いた事 (新人同士でのディスカッション)

	社員A	社員B	社員C
6/29 第2章:学習スタイルを把握する	書かれていることがすべてではない。学習スタイルがまだ確立していない。参考として活用したい。	表面と本質は異なる。そのタイプになりたいという潜在的な気持ち。VAKTはなかなか当てはまらない。	想像以上に他者からの評価と自分の分類が同じであることを知った。弱点を把握して今後に生かしたい。
7/4 第3章:学び方を振り返る	【意味理解志向】 自分にとって見やすくまとめたい。今まではシャドーイングがメイン予測しながら聞くことで理解が深められると感じた。	【結果重視志向】 気になることを読み直す。メモは取らない（メモを取ることに集中してしまう）。写真として覚える。聞くと見るを並行して行う。	【思考過程重視志向】 目的をもつ…普段からやっている場合と今後挑戦する場合で異なる。学習スタイルが全員違うことが改めて分かった。
7/5 第10章:失敗に強くなる	【失敗力：24点】 セルフトークを考え、偉人の名言を見て、感情調節をしている。メンタル崩壊時は人に話すことで調節することもある。	【失敗力：23点】 「よし次に行こう！」と気持ちを切り替える。本当にまずい時は、ヘルプを出せない。	【失敗力：24点】 セルフトークをせずに、同じ失敗を繰り返さないような方法を考える。メンタルの崩壊時は表情が皆無になる。
7/6 第11章:学習意欲を高める	A-3：メリハリやリズムが集中力につながる 全体：動画や添文で興味を引き出す、少しずつ成功体験を引き出したい OnとOffの切り替え（休憩をどのくらいでとるか）	A：疑問を持つことは楽しいが、効率が下がる恐れがある。 C-2：確認テストを行うことで成功体験につなげている S-3：終始一貫を保つことの難しさ、課題として意識したい	R-1：目標を常に持つことを心掛けている。 A-3：勉強のやり方や環境を変えることも検討していきたい。 学習意欲を保つことの難しさ。
7/9 第16章:これからの学びを想像する	「ライフシフト」寿命が延びることで、40,50代でもう一度学習し、労働ができる元気な高齢者が増える体制を整える。 【21世紀型スキル】批判的思考力、問題解決能力、コミュニケーション力がグローバル化社会で生き抜くために必要	年金だけでは賄えないから、子供や孫に負担をかけさせる。技術の突如とした進歩があるかもしれない。 【モノづくり教育】自分の強みをわかる、しかし、自分の役割を固めてしまうのはもったいない	年金をもらう時期が遅くなる、定年退職後も働かなくてはならない。定年退職制度がなくなるかもしれない。 【プロジェクト学習】大学生に対して、ビジョンとゴールを明確にして、チームや個人でゴールに向かうプロセスを考える講義を鈴木先生が行っている
7/10 第18章:自己調整学習者になる	【内発的動機付けと外発的動機付け】 外発的だけでは長期間継続しにくい、内発的が重要だと経験から気づいた。内発的動機付けを探り出す。みんながファシリテーター。	モチベーションをあげることや共通項を探すことも動機付け。 ファシリテーターが大切、環境づくりときっかけを作ることで、そのディスカッションを円滑に進められる。コプロも共調整学習のひとつかも。	共調整学習を行う上で、反対意見を述べても受け止めてもらえる環境を作ることが最も重要なのではないかと感じた。否定され続けると、本音を言にくい環境が構築され、互いの視野を広げることにつながらない。

その他、所感など

- 基本的には自習スタイルで実施（本研修プロモーターを設定）
- 横で見ていたが、しっかりと読書時間を設け練習問題を解き、各自でフィードバックを呼んでから気付いた点など共有できていた
- 「学習」に対して、じっくりと内省する時間になった
- 配属後の環境に左右されず、自己調整学習者になる重要性について全員で意思統一を行った
- 単に製品研修を進めて学習を続けなさいといっても中々マインドの変化を起こす事は難しく、本人次第となるがマインドを高める1つの方法として実施する意義はあると感じた